



まさき

線路の敷石と川原の石

授業参観、PTA総会を4月28日（月）に開催しましたところ、多くの保護者の方にご参観いただきまして、ありがとうございました。教室での授業では、子どもたちは一生懸命、書いたり、話したりしている姿が見られました。教室が狭く、何人かの保護者の方は、廊下からの参観となり、ご不便をおかけいたしました。令和7年度がスタートして1ヶ月が経ちました。子どもたちは、運動会に向けた取り組みが始まったことに期待を寄せています。

さて、令和7年度は、高学年を中心に教科担任制を始めました。1ヶ月が経ち、子どもたちは少しずつ慣れてきたようです。「教科によって先生が変わる授業が楽しい」、「教科担任制はいい」などの意見が子どもたちから寄せられ、おおむね好評のようです。先生方からは、「自分の学級だけでなく、他の学級の子どもたちと一緒に授業できるのがよい」、「同じ授業を何回もできるので、授業を改善することができる」など、手応えを感じているようです。中学校への進学を控えた高学年を中心に、教科の専門性を生かした授業をすることで、子どもたちに学力を身につけたいと考えています。中学年では、部分的に教科担任制を実施しています。今回は学級担任による授業公開でしたが、次回の授業参観では教科担任制の授業を公表したいと考えています。

安心して授業を受けるためには、安全・安心な学校生活の環境を整えることが肝心です。学校には様々な約束事があります。それは子どもたちを守るためにあるものです。法律や条例も同じです。約束を守ることの大切さを指導します。また、いじめ防止対策基本方針を一部改定し、ホームページで公開しています。改定のポイントは、いじめの問題が犯罪行為に該当する場合には、警察に通報する必要があることを追加したことです。PTA総会での校長の話の中でも、この件については触れさせていただきました。暴力、暴言、いじめがないように子どもたちに指導しているところです。また、虐待の恐れがある場合には、子ども相談センターへ通告します。ご理解をいただきますようお願いいたします。

東海道新幹線は2024年10月1日に開業から60周年を迎えたことから、昨年度、出前授業をしていただきました。その際に、講師の方と校長室でお話をしている中で、敷石の話題になりました。敷石は、新幹線や電車のレールを支えるためにある石のことで、新幹線が通過するときその振動で石と石がぶつかり合っただけで次第に小さくなるそうです。小さくなった敷石は、新しい敷石と交換するそうです。5年生の理科の授業「流れる水の働き」の学習で、水の働きによって石が流される過程で、石と石がぶつかり合っただけで小さくなったり、角が取れて丸くなったりすることを学びます。石と石がぶつかり合うことで角が取れて丸くなったり、小さくなったりすることは、線路の敷石も川原の石も同じです。理科の授業で学んだことは、生活の中に大きな関わりがあります。他教科も同様に、小学校の授業は身の回りの生活に大きく関わっています。ここに、小学校で学ぶ意味があると考えています。線路の敷石と川原の石のように、授業の学びが生活の中に広がるような深い学びを実現したいと考えています。今後ともよろしくお願ひします。校長 花村伸二